

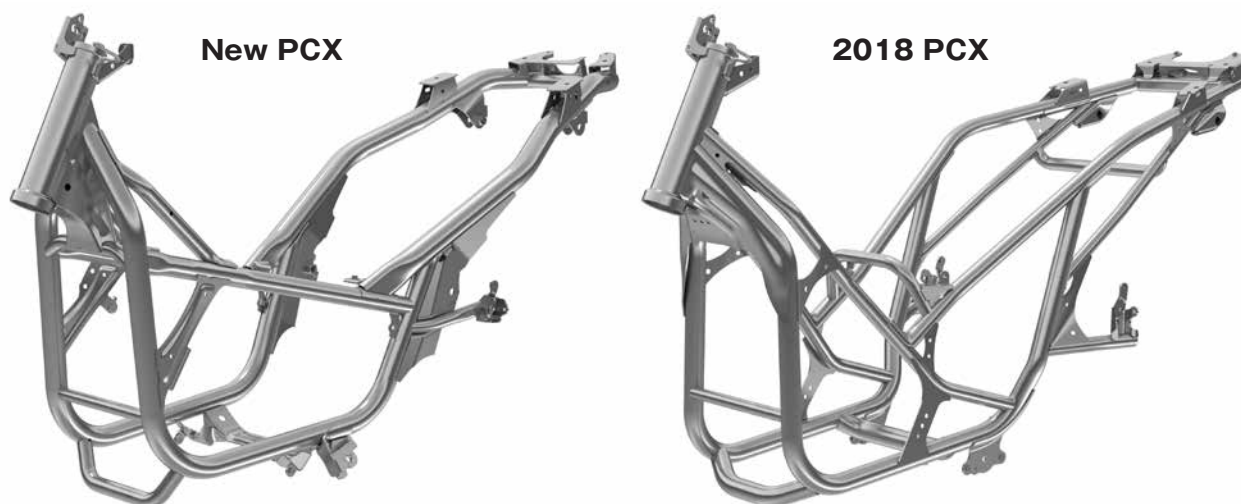
●フレームボディー

軽量化と剛性の最適バランスによる“快適で上質な走り”を実現するためフレームを完全新設計。フロントまわりはヘッドパイプの角度変化を抑えるために、ねじれ中心を考慮することでスムーズな旋回性能を実現しました。

リアまわりはヘルメット等の収納性に配慮し、シンプルな1本のパイプでの構成としながらも、リアクッションの固定形態をブラケットタイプとすることで、リアクッションの作動性向上に寄与しています。

CAE解析により、各部を構成するパイプ径や肉厚、材質の選定や、これらの接合位置を最適化することで、フレームボディー単体で-760gの軽量化を達成し、従来モデルと同等以上の軽快なハンドリング、取り回しやすさを実現しています。

■フレームボディー (CGイメージ)



●ラバーマウント構造ハンドルホルダーの採用

新たにラバーマウント構造ハンドルホルダーを採用しました。ラバーサイズ、硬度の最適化と新規エンジン懸架方式により車体からライダーの手へ伝わる不快な振動を軽減した心地よいライディングを実現します。

■ラバーマウント構造図 (CGイメージ)

